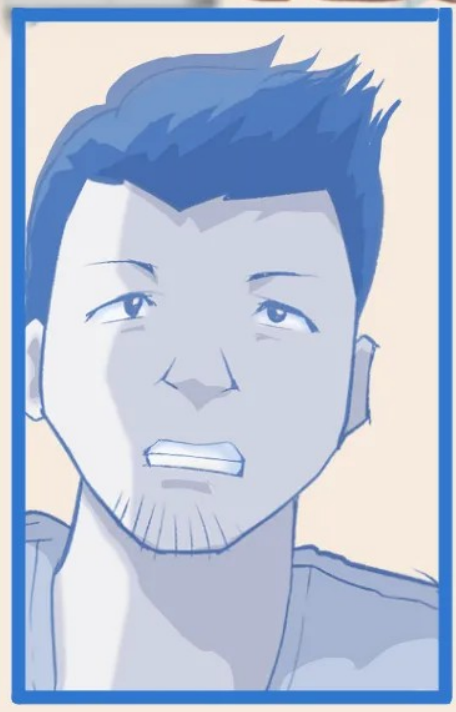

よその奥様なのに、愛しくて大切な母（ママ）
寝取りの夜明け
とある片田舎で若妻略奪劇!!
フルカラー
44P

二週間の泊まり込みバイトの為東京から
片田舎ののどかな農村へ訪れたボク。

久々に再会したなりみさんは容姿が
他界した母に似ており惹かれてゆく‥

空白の母との時間を埋め合わせるように
どんどん彼女に依存し、のめりこむ中

翌日、主人の哲さんが戻り３人での
共同生活が始まった…。







Tetu　　Narimi　　Daiki

二日目の夜―

今日は一日中
慣れない仕事を手伝い
ヘトヘトに疲れた

哲さんは
夜勤仕事は休みで
ずっと一緒だった

ははは…

ハハ、おふくろの味
ってやつか…！

じ～～ん

疲れた体に

くぅぅ～っ…！
この具沢山のお吸い物、
実にしみわたります…！

なにげない手料理なのに…
なによりも価値を感じて
噛みしめる

ニヤニヤ

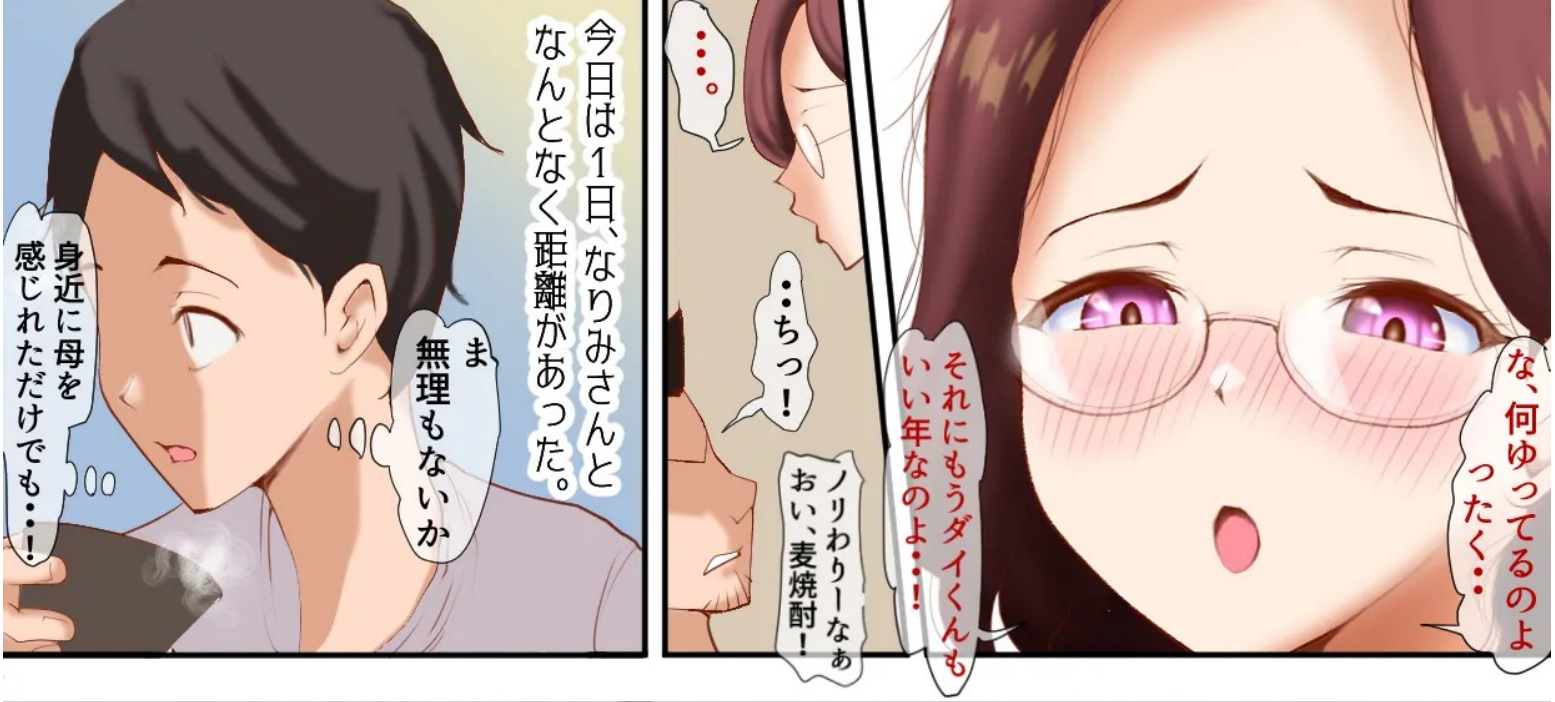
わかる、
わかるぞぉ～っ

甘えたりねーん
だよな？

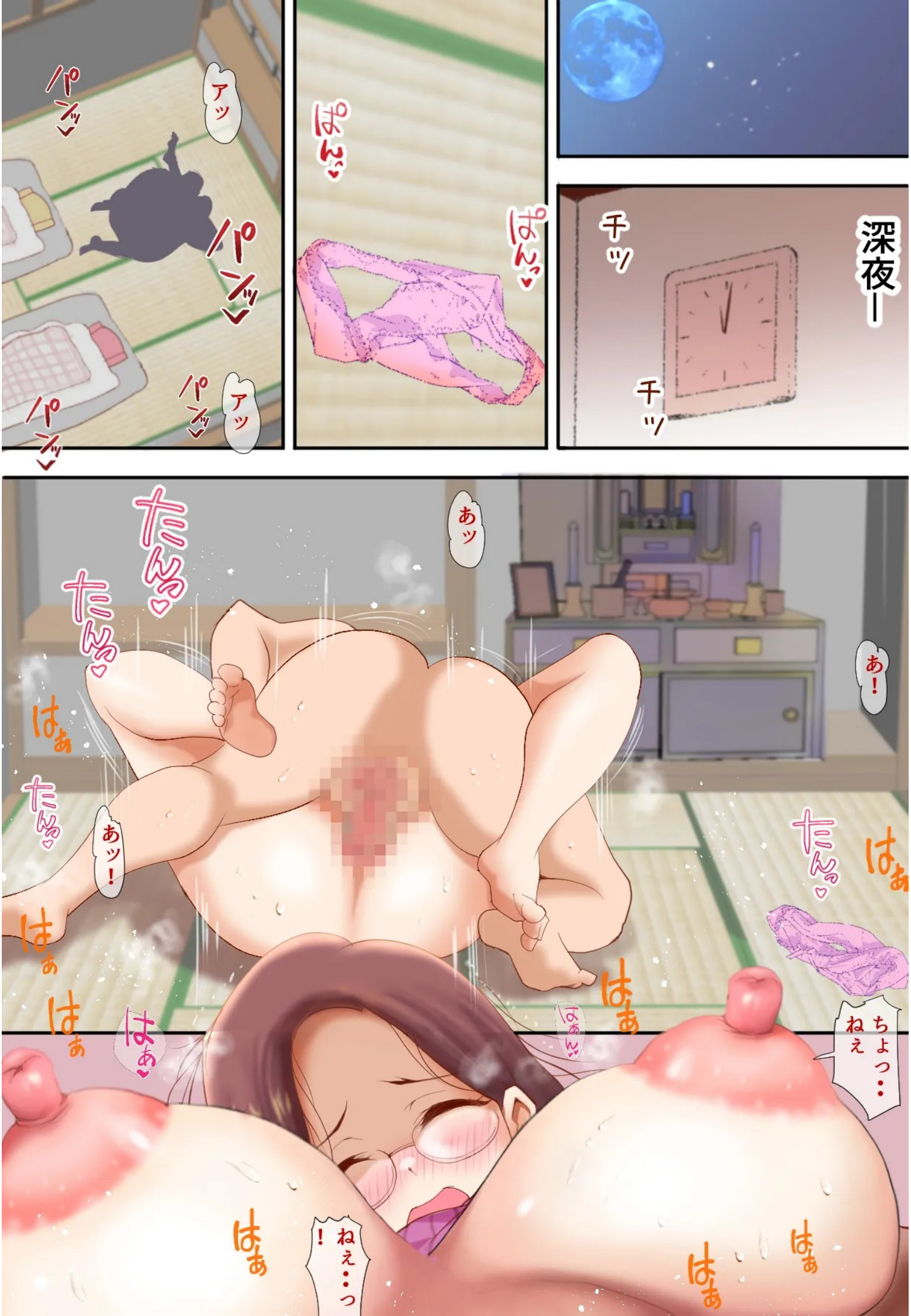
おいお前、
ちとおっぱいでも
吸わせてやれよ

へるもんじゃねーし

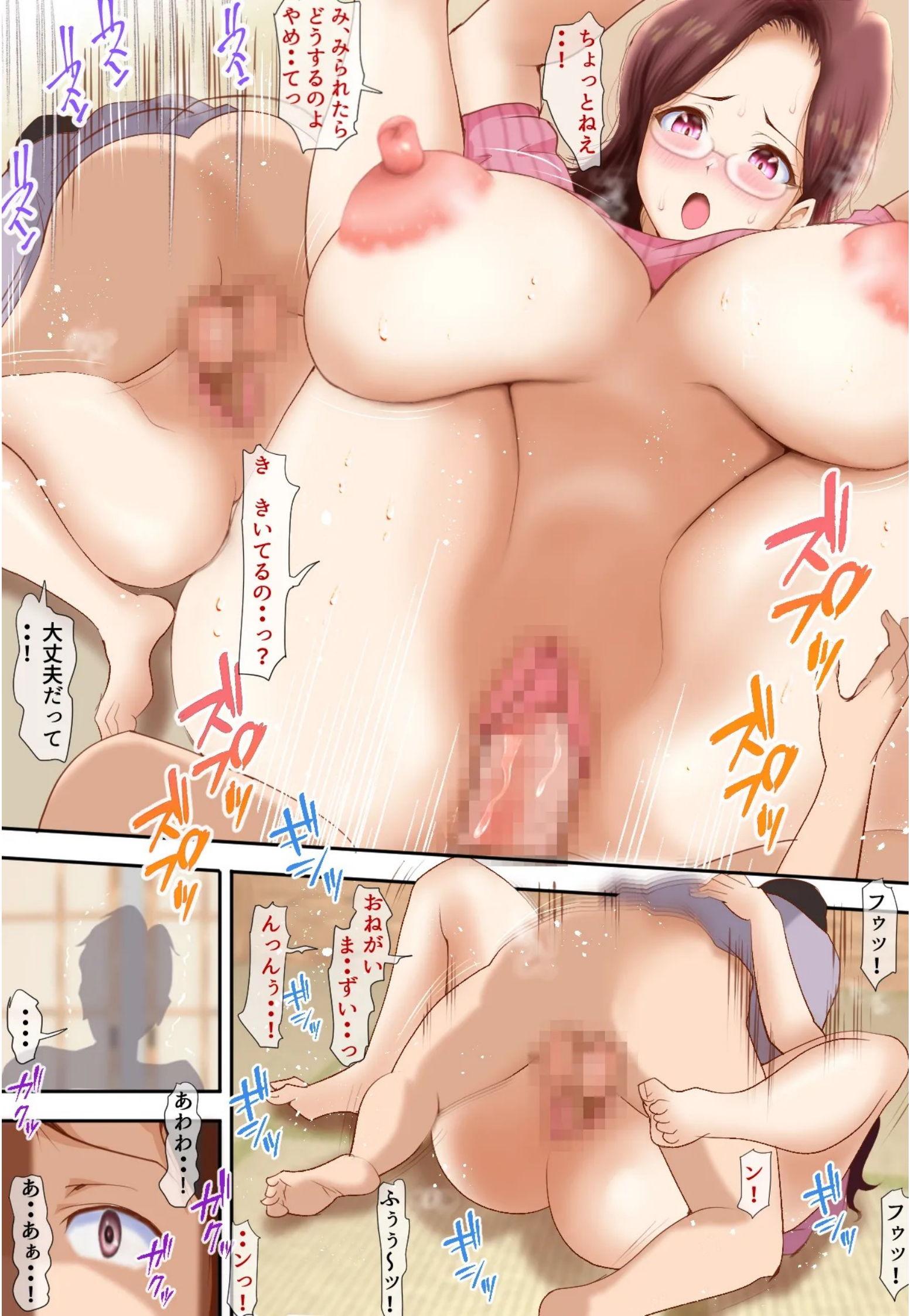
こいつはよ、
愛情がたりねぇンだよ


な、何ゆってるのよったく・・
それにもうダイくんもいい年なのよ・・!
・・ちっ!
ノリわりーなぁおい、麦焼酎!
・・・。
今日は1日、なりみさんとなんとなく距離があった。
ま無理もないか
身近に母を感じれただけでも・・!


しかも今月は母の命日でありなりみさんは
寝室の部屋にわざわざしまっていた写真立てをだしてくれたー
いつも通りの笑顔で歳を取らない母が、そこに居たー。


深夜ー
チッ
チッ
ぱんっ♡
ぱんっ♡
パンッ
パンッ
アッ
パンッ
アッ
パンッ
あッ
あ！
たんっ♡
たんっ♡
はぁ
たんっ♡
はぁ
あッ！
はぁ
はぁ
はぁ
はぁん♡
はぁ
たんっ♡
はぁ
ちょっ・・ねえ
ねぇ・・っ！
はぁ
はぁ
はぁ


新婚以来忘れたようになかった夫婦間のセックス
なぁに大丈夫だって・・！
か、彼・・隣室で寝てるのよ・・!?
ね、ねえっまずいわよ・・！
は――…
は――…
は――…
は――…
リズッ
リズッ
リズッ
リズッ
それが今夜突然・・・！
プル
プル
プル
プル
プル
プル
何もこんな時にエッチなんて
ビク
ビク
ビク
ビク
ビク
なぜ・・
なぜ主人はこんな・・っ
はぁ
はぁ
はぁ
はッ
はッ
はッ
はッ
はッ
ふん
ふん
なぜか急にムラっちまって・・！
スネ
スネ
スネ
スネ

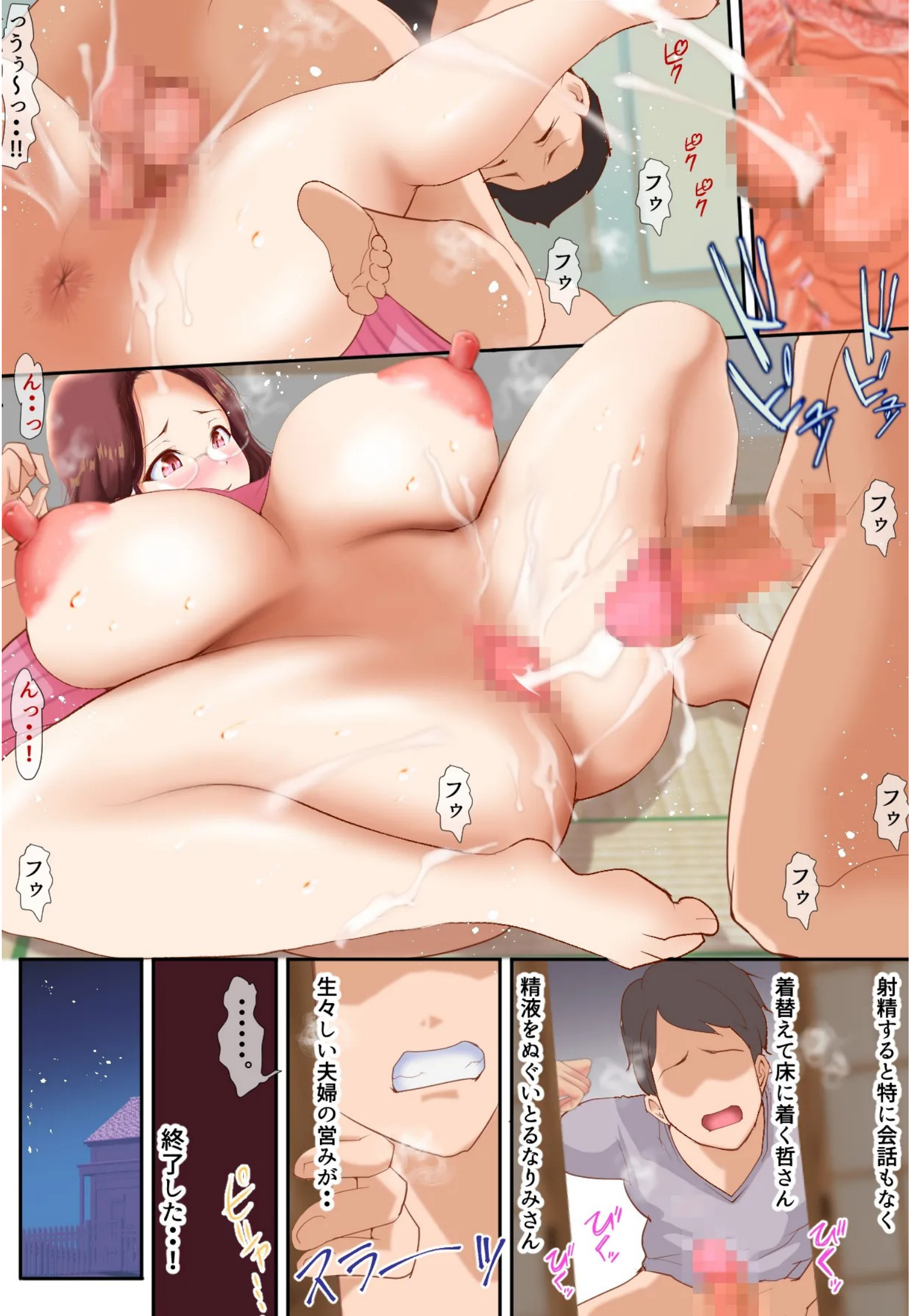

ちょっとねえ・・！
み、みられたらどうするのよやめ・てっ
ズンズンズン
き きいてるの・っ？
大丈夫だって・・！
ズブッズブッズブッズブッ
フゥッ！
おねがいま・ずい・っ
んっんぅ・・！
ン！
ふぅう～ッ！
・ンっ！
フゥッ！
フゥッ！
・・・
ガクッ
あわわ・・！
ガクッ
あ・・あぁ・・！
ガクッ


な！な！
うあぁ～っ
し、信じられない…!!
信じられない事があ～!
ひっ
んっ
ひぃッ
んうッ
目の前でずぷずぷ
まんこにくいこむ太チンポ
ただの夫婦の営み・・・
のはず、なのに
こんな気持ち、初めてで・・・
胸がはりさけそうで
でもギンギンに硬くなってて
わからないけど
ボクの大事な母が
やられてるようで
もう
もう
やめてくれ～っ!!

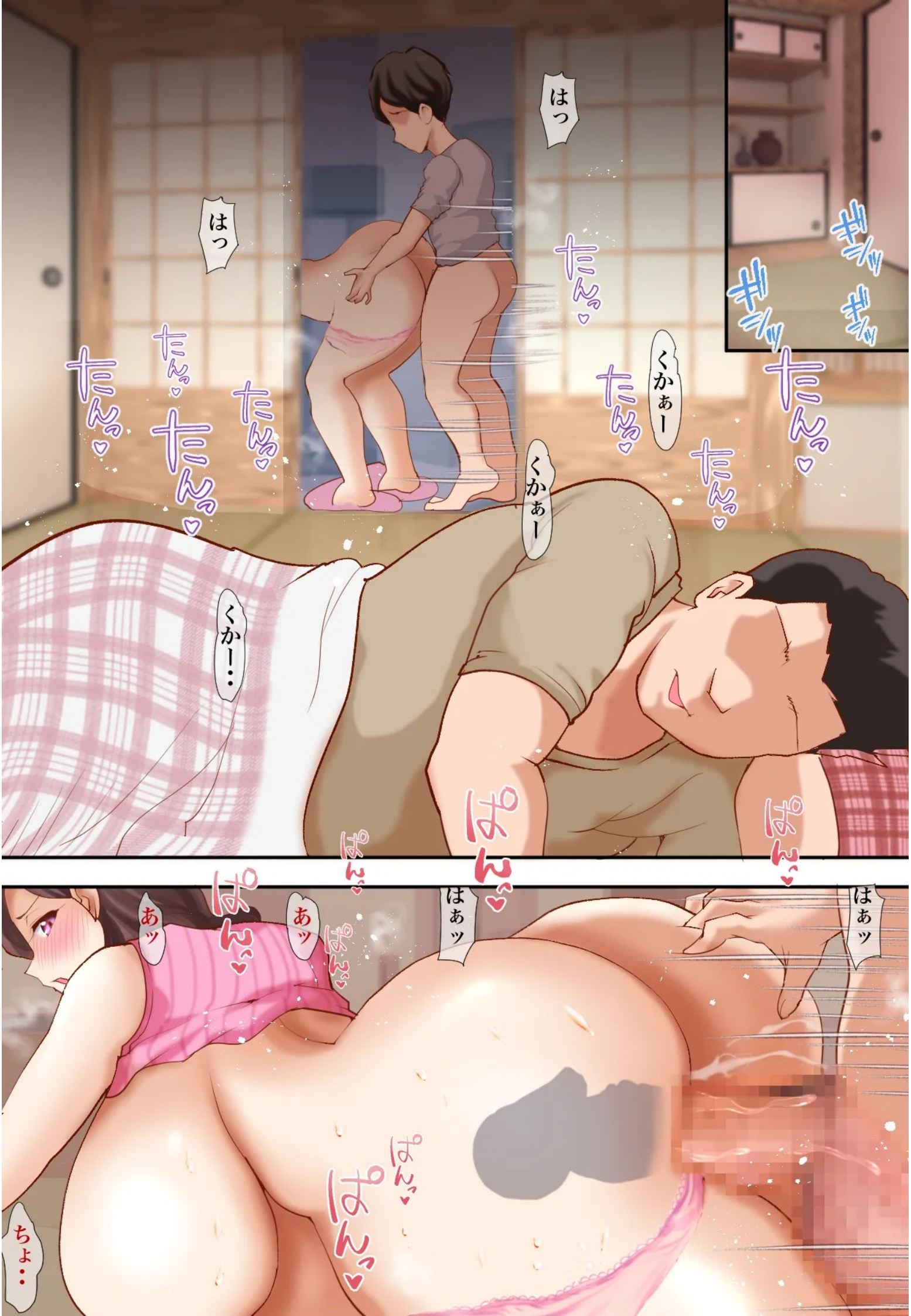

やめろ、やめてくれ!!
シコ
シコ
シコ
シコ
ママを乱暴に使用するな
汚ならしいペニスをねじこむな
くっそぉぉぉ〜!!
あ!
あっ!
はぁ
あうっ!
はぁ
はぁ
はぁ
ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ
ハァ
ビクンッ
ハァ
ハァ
ビクンッ
ちょ・・おねがいッ
声が、
き、きこえちゃう
から・・っ!
ふうっ!
ふうっ!
悔しい!
もう悔しくて悔しくて!
シコ
シコ
シコ
あ!あぁ!あ・・ッ!!
パンッ
パンッ
パンッ
パンッ
パンッ
パンッ
ふうっ!
ふうっ!
ふうう〜〜っ!


くっ！　よ、よりによって
かーちゃんの遺影の前で
ズッ
ズッ
ズッズッ
ズッズッ
あぁ
あぁ
やられまくるママに
嫉妬心がたぎる
んっ
はッ
はッ
はッ
ん
はッ
はッ
ふう
でも・・でも、
暗がりの中
うごめく裸体は
んうっ
んうっ！
はぁ
はぁ
んうっ
はぁ
どこかなまめかしく
艶っぽくて、
みとれてしまう怪しさで―。
ふう
ふうッ


記憶の中の
母が今よみがえり
目の前の女性と重なる
うぅ・・!!
母が好きなんだ・・
そう気づいた
改めて・・自分は
アッ
アッ
アッ!
アッ!
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
ぷるぷる
ぷるぷる
ぷるぷる
ぷるぷる
ぐちゅぐちゅ
ぐちゅぐちゅ
ぐちゅぐちゅ
ぐちゅぐちゅ
うぅ!
あぁ・・!
っあぁ~っ!!
うぅッ!!!!


つうぅ〜っ・・!!
ピク
ピク ピク
フゥ
フゥ
ん・っ
フゥ
フゥ
フゥ
フゥ
フゥ
んっ・・!
射精すると特に会話もなく
着替えて床に着く哲さん
精液をぬぐいとるなりみさん
びくっ
びくっ
生々しい夫婦の営みが・・
スラーッ
……。
終了した・・!
ピッ


30分後―
のどが乾いて・・
ごそごそ・・
!?
おおきてたのね・
ドキドキ
・・・・・っ！
い――・・・
い――・・・
い――・・・
な・・っ
くぅ～～っ!!
ダイちゃんっ・・！
ダ
ドキッ
えっ
フーッ
フーッ
フーッ


はっ
はっ
たんっ
たんっ
たんっ
たんっ
たんっ
たんっ
くかぁー
くかぁー
くかー・・
ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ
はぁッ
はぁッ
あッ
あッ
ちょ・・


ねえ!?
昨日だけって：
昨日だけってゆったじゃ
ビク
ビクッ
隣であんなやらしい事しといてよくゆうよ!!
うっ・・・!
そ それは・・!
ぬぷ
ぬぷぷ
お・願いっ
ぷる
それじゃ一部始終・・・見て・・たの・・!?
狂ったように硬いモノをねじこまれるー
あ!
悔しいんだよ!もう悔しくて・・ボクのママなのに目の前であんなこと!
ちょ・・と
たんっ
ぐちゃっ


ママがいけないんだよぅ!!
そ…んなっ
ママがこんなに
魅力的だから悪いんだ!
な…んでこんな事に…!
どうしたらいいのか
わからない状況で
ぶっといのが注射される
激しく求めてくる
彼のだしいれに
ひたすら耐える—
ひっ!
ひぃ!
ひぐぅ…っ
はぁ
はッ
ズブッ
ぶっ
あぇ
あぇ
あぇ


ちょ・・と、隣でこんな・・
はッ
ち 近くて・・
はッ
さすがにまずいわ、おね・がい
はッ
すごく損した気分だよ・・！
母を寝取られた感覚でムシャクシャして悔しくて・・ッ!!
夫が使用してた秘部に
!?
な・何ゆってるの・・!?
ボクのちんぽで！
さっきのちんぽの感触、上書きしたくて・・!!
ガチガチのが乱暴にくいこんでくる


あ・あなた どうかしてるわ
主人との行為にそんな・・！
悔しいんだよ!!
こんなとこ夫に見られたらー！
はっぁぁ・・！
見・られたら私ー
悔しくて悔しくて！
はー…
はー…
はあ！
はあ！
あぁ！
うっ
うぅっ
わかるよね？ボクのこの気持ち
旦那より長く、ボクのチンポをねじこみたくて!!
うっ

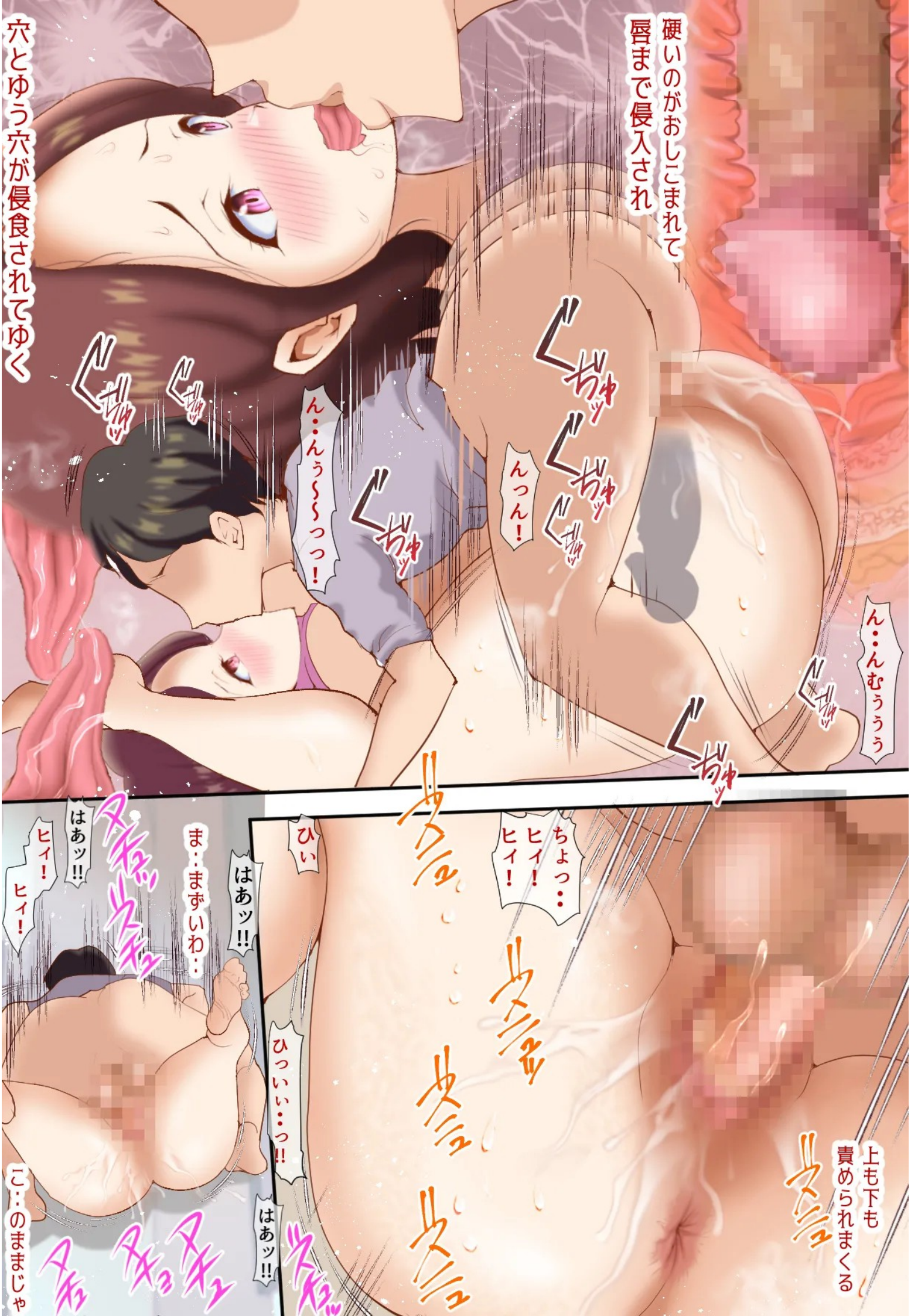

昨日入れてから情が移ってしまって
ふ――…
ふ――…
もう自分にとって特別な存在で！
ふ――…
そ、そうゆうのやめて、ほんとに…
ピク ピク ピク ピク
あ！
昨日だけの約束・だったのに
ぷる ぷる ぷる ぷる
あ！
あぁ・・!!
あ！
あ！
今夜は旦那の横でこんな…
パン パン パン パン パン パン パン パン
ぱん♡ ぱん♡ ぱん♡
アッ アッ アッ
もうどうすればいいのかー
アッアッ！
はぁ♡
はぁ♡
ぱん♡ ぱん♡
アッ
はぁ♡
はぁ♡
いつからこうなってしまったのか


こ、これ以上こんな事はやめましょ・・!?
ねえ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
き・・いてるの?
うっぐぅぅ吸い付いてくるぅぅ・・!!
ぅ〜〜…
ぅ〜〜…
くぅ〜っ
ワ、ワレメにはさまっちゃって・・
ぷるぷる
ぷるぷる
ぷるぷる


やっ！ちょ・・
ピュッ ピュッ
でてる・ッ！
っあっあぁ～～っっ!!!!
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ひいっ！
中でドクドクだされ 子宮に直撃する
ひいっ
っはぁぁ・!!
う・ぐぅッ！
ドクンッ
ドクンッ
ドクンッ
は・あぁぁぁ
くっうぅ～～ッ!!


ふぅ〜っ…！
ふぅ〜っ…！
は！…
は！…
は！…
は！…
は！…
…っ！
気がすんだ…
…でしょ…？
フーッ
フーッ
フーッ
ぬ、ぬ…いて…っ！
ビクーン
ビクーン
ちょ…！
今だしたのに…っ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
え!?
ぬちゃ
ぬちゃ
ぬちゃ
ぬちゃ
あ…あぁあ…!!
ネチュッ
ネチュッ
ネチュッ
ネチュッ
ネチュッ
…ちょっ
あ、あと一回だけ！
一回だけやらせて!!


や・・めやめ・・て・・！
も、もうっ
はぁ
はぁはぁ
パンッパンッパンッパンッパンッパンッパンッパンッ
こんな近いのに・・！
パンッパンッ
こ、これ以上甘やかせる訳には・・
や・・めさせなきゃ！
くぅぅ～っ
はッはッはッ
も、もう私おかしくなりそう・・!!
なぜこうなったのか誰が悪いのか
はッはッはッ
うっうぅ
ぷるんっ
ぷるんっ
ぷるんっ
ぷるんっ
うぅ・・っ！
びくっびくっびくっ
あぁ～っもう・・!!
っ!?
ちゅるるる
んっむぅぅぅ～～っ!!
んんっ!!
っんっんむむ・・！
ちゅ♡ちゅ♡ちゅ♡
むちゅうぅぅ～っ


穴とゆう穴が侵食されてゆく
硬いのがおしこまれて
唇まで侵入され
ん・んむううう
ん・んぅ～～っっ！
んっん！
ちょっ・ヒイ！ヒイ！
ひい
はあッ!!
ま・まずいわ・
はあッ!!
ヒイ！ヒイ！
ひっいい・っ!!
はあッ!!
こ・のままじゃ
上も下も責められまくる


気づいた時には
もう遅すぎてー!!
はぁ
んっ
はぁ
はぁ
はぁ


ふーッ
ああっ!?
ふーッ
や、やめてっ！
ま　丸見えじゃ・・・！
ふーッ
旦那の前なのに・・・
結合部分が晒されるー
ああ～っお・願いっ
こ・・こんな事・っ!!
ビクッ♡
ビクッ♡
ぬぷっ♡
ぬぷっ♡
ぬぷっ♡
でも・・でも
うっ・・
じゅぷっ
ぷるぷる
うっうぅ・・!!
じゅぷっ
じゅぷっ
ぷるぷる
ぷるぷる
ぷるぷる
そ・・れは・・！
ヌプッ
すっごい濡れてるよ、びちょびちょだよ・・!?
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
ヌプ
ヌプ
ヌプ


主人の前で
若い肉棒に突きまくられ私は・
答えないって事は、
そうなんでしょ・・？
やっぱり、旦那のより
ううっ
うっうっ
ボクのが良かったんでしょ・・？
だからおまんこがこんなに
ねっ？
・・・・・っ。


やっぱりボクのママだ、ボクだけのー
も、もうやめて！ママって呼ぶのやめて・・!!
これ以上おかしくなりそう・
夫と彼のはざまでなぜこんなに・苦しまないといけないの!?
た、耐えられないー！
なんかもう何が悪いのかわからなくなってー
あぁ～～っ・・・
わ、私っ・・
私もう・・!!
あ！あ！
・・・・っ!!


ポロポロ女っ
うっうっ・・
ゆさゆさ
わ、私・・は
はッ
はッ
たぷんっ
たぷんっ
わ 悪い妻です・・！
え・・？
はッ
はッ
はッ
ゆさゆさ
あなたごめんなさい
私・・断れなかった・・
他人棒が・・侵入しても
はー…
はー…
はー…
ぬぷ…
ビクンッ
ぬぷぷ…
・・断れない・・女なんです
ぬぷ…
きっと私はー
彼の母親のかわりに
欠けた愛情を
与える役なんだわ
ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ

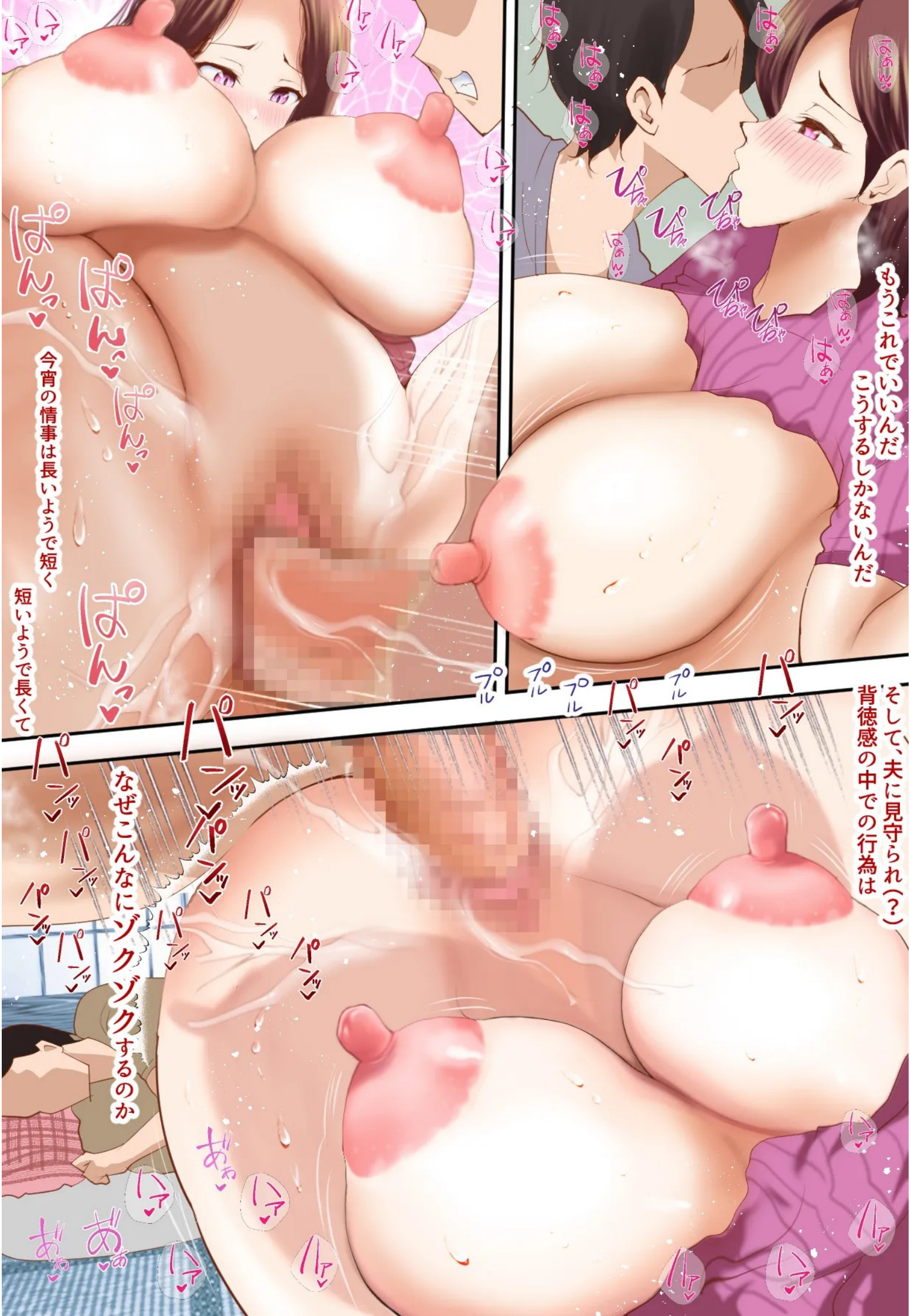

だからこれは
悪い事ではないんだ・・
はぁ
あぁ
あぁ
そういいきかせた
はぁん!!
あぁ
あぁ
うぐっ
くっうぅ〜っ!!
うぐっ
夫もわかってくれるはず・・
そういいきかせた
あぁ
ハァ
ハァ
あぁ
んぅう・・!!
ハァ
ハァ
ん
ん
と、とにかく
さっさと済ませて・・!
あくまで冷静をよそおう
ん♡
んっ
ん
ビクッ
ガクッ
ガクッ
ビクッ
ガクッ
ガクッ
感じてないフリをする
んっ♡
んっ


あぁああぁ・・っ
やっぱボクのママは
最高だ
ふ――…
ふ――…
さ、最高の
おまんこだっっ
でもすでにカラダも・・心も
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
んっん♡
ぷるぷるぷる


ママのまんこに入れたら二度とぬきたくない!!
ひぃ!
ひぃ!
ひぃっ!
はッ
はッ
はッ
やめられないとまらない!
ぐちゃぐちゃ
ぐちゃぐちゃ
ぐちゃ
さんざん突かれまくるともう何もかも麻痺してくる・・
あ!
あん!
あん!
あ!
たんっ
たんっ
たんっ
たんっ
たんっ
たんっ
旦那にはない熱量でここまで求められると女として・・
嬉しくないわけがない
でも感じてるなんて気付かれたくない
パン
パン
パン


夫の前で妻としての変なプライド
本当は激しいだしいれに気絶しそうで
ぐっと快感に耐え続ける
でも気を許したら全てのっとられそうで
ああ～っママ!! ボクのママッ!!
ふうっ!
ふうっ!!
ふうふうっ!!
ビクンッ
ビクンッ
ビクンッ
ビクンッ
ビクンッ
ぬぷぷ
ぬぷぷ
ぬぷぷ
ぢゅぶっ♡
ぢゅぶっ♡
ぢゅぶっ♡
ぢゅぶっ♡
ぢゅぶっ♡
ぢゅぶっ♡


ビク
ビク
ビク
ビク
ふう
はあっ
ふう
んっ
ふう
んっ！
再び唇を奪われると
もう、もう私は・・
ンッ♡
王手を詰まれて
拒めなくなるー
わかったわかった、もう
このまま二人
沼へ堕ちてゆこうー
とことん堕ちてまた
はいあがればいい・・
ふうッ
ビクビク
ああ～っママっ・・！
・・・っ！
ガクッ
ガクッ
ガクッ
ガクッ
ママの
唇がほしい・・!!
いいよね？
ビクン
ビクン
ビクン
カタカタ
私から彼の唇を
カタン
吸い返した・・！


もうこれでいいんだ
こうするしかないんだ
今宵の情事は長いようで短く
短いようで長くて
そして、夫に見守られ(?)
背徳感の中での行為は
なぜこんなにゾクゾクするのか


んっ！
ぷるぷる
ぷるぷる
んっ！
ぷるぷる
ぷるぷる
んっ！
ぷるぷる
ぷるぷる


あっぁぁっ
も、もももうダメだ
しまりすぎだッ・・
ズブッ
ズブッ
ズブッ
ズブッ
ズブッ
あ～っもう！
あ～っもう・・!!
んぅっ♡
んっん♡
んっ♡
だ、だすよママ！
もうだすよママッ!!
ビクッ♡
ビクッ♡
ン！
ンッ！
ンンッ!!
ズッポ
ズッポ
ズッポ
ズッポ
ズッポ
ズッポ
ズッポ
ズッポ
ズッポ
ズッポ
ズッポ
ズッポ
まんこにだすよぉぉっ!!
あ！あ！あ！
んあぁあぁ～っ・・・


あっ！あっ！あっ
ビッ
ぴゅっ
ぴゅっ
ビッ
あっあぁあぁ～～っっ!!!!
ビッ
ビッ
んっんん～～っっ…!!
ビッ
ビッ
ビッ


あ・・
あ・・うぅ～っ！
ま・・
まだ・・！
はーー
・・・っ？
彼の棒は萎える事なく
ま・・まだだしたりない！
だしたりないんだよぉッ！
アッ!?
ひきぬかず再び腰を振りはじめるー
はッ
あっあっ
ちょ・・ちょっと!?
ハァッ
あ～っそんなッ・・
ビクン
たんっ
っあぁ～っ・・！


再びカチコチので突かれると
ビクン
ビクン
ビクン
あぁ
き、気を失いそう
必死に耐えながら・・！
あぁ
あぁ
あぁ
あぁ
あぁぁ！
ビクン
ビクン
ビクン
ビクン
ビクン
ぐちゃ
ぐちゃ
びくっ
びくっ
びくっ
あっ！あっ！
こんなに種付けされてもう・・
びくっ
・・もう・・!!
あぁぁ！
ぐちゅぶっ
あ！あ！
あぁ～ッ・・!!
ぐちゅぶっ
ぐちゃ
ぐちゃ
ぐちゃ


ぱん ぱん
ぱん ぱん ぱんっ
あ♡
出し入れがとまらない・・
あ♡
はぁ はぁ はぁ
びくッ
あ♡
行為は夜どおし続いた
ビク ビク ビク ビク
ちょっ・・と
いつまで、いつになったら・・・
ああ～っ
も・・もう・・！
びくッ びくッ
ズプッ
あ♡ あ♡ あ♡
びくッ はぁ はぁ
ズプッ ズプッ ズプッ ズプッ
あ♡
あぁ～ あぁ～
あ♡
ズプッ

あ！あ！あ！
たんっ♡
たんっ♡たんっ♡
ハア♡
ひぃ!!
ひぃっ！
ハア♡
ぢゅぷっ♡
あ♡
もうダメぇ!!
あ♡
ああもう！
ああもう！
ぢゅぷっ♡
ぢゅぷっ♡
あ！
あっ！
ハア♡
ハア♡
はぁ♡
ぢゅぷっ♡
あ♡
だ、だめだ！
あがってきて
・・ッ
ぢゅぷっ♡
ハア♡
ぢゅぷっ♡
ぢゅぷっ♡
あ♡
もうダメ！
ハア♡
あ♡
ハア♡
はぁ♡
あ♡
ああ～っもう!!
もう・・っ!!
ハア♡
ハア♡
ハア♡
ビクビク
ビクビクビクビクッ
はぁ♡
あ♡
ハア♡
ハア♡


あっあぁあぁ～っ♡
あっあっ♡
あ♡
ハァハァ
はぁ～
ガクッ
ビクンッ
フゥ!!


ぴゃ
ぴゃ
ぴゃ

翌朝は3人で作業―
黙々と手を動かしながら横目で
彼女のまんこのあたりを
ジロジロ目で追ってしまう

ボクがだしたのが
膣に付着してるかと
思うと・・

ムクムク軽く
半立ちに

なりみさんだって
気付いてるはずだ！

僕のチンポであんなに
感じまくってたのは

ふう・・

そこに幸せをみいだせたから、だよね・・？

彼がここにいる間に
身も心も・・
全て奪われると
気付いた私

・・・・・。

母への執着を
スッキリさせるため
思いついたのは・・。

そうだわ・・！

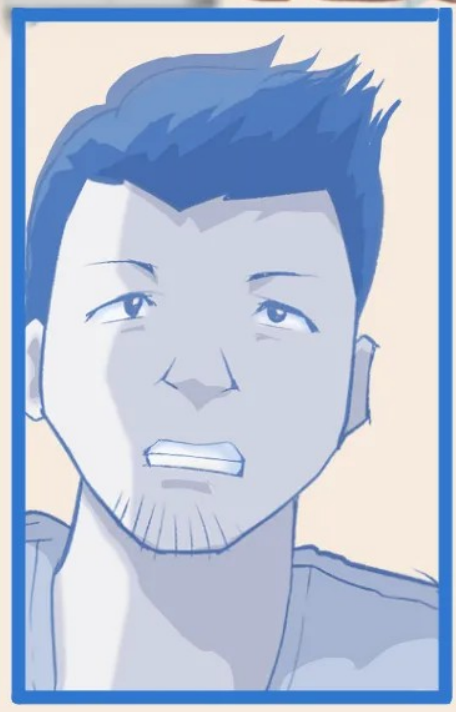
to be continued

二週間の泊まり込みバイトの為東京から
片田舎ののどかな農村へ訪れたボク。

久々に再会したなりみさんは容姿が
他界した母に似ており惹かれてゆく‥

空白の母との時間を埋め合わせるように
どんどん彼女に依存し、のめりこむ中

翌日、主人の哲さんが戻り３人での
共同生活が始まった…。







Tetu　　Narimi　　Daiki

二日目の夜―

今日は一日中
慣れない仕事を手伝い
ヘトヘトに疲れた

哲さんは
夜勤仕事は休みで
ずっと一緒だった

ははは…

ハハ、おふくろの味
ってやつか…！

じ～～ん

疲れた体に

くぅぅ～っ…！
この具沢山のお吸い物、
実にしみわたります…！

なにげない手料理なのに…
なによりも価値を感じて
噛みしめる

ニヤニヤ

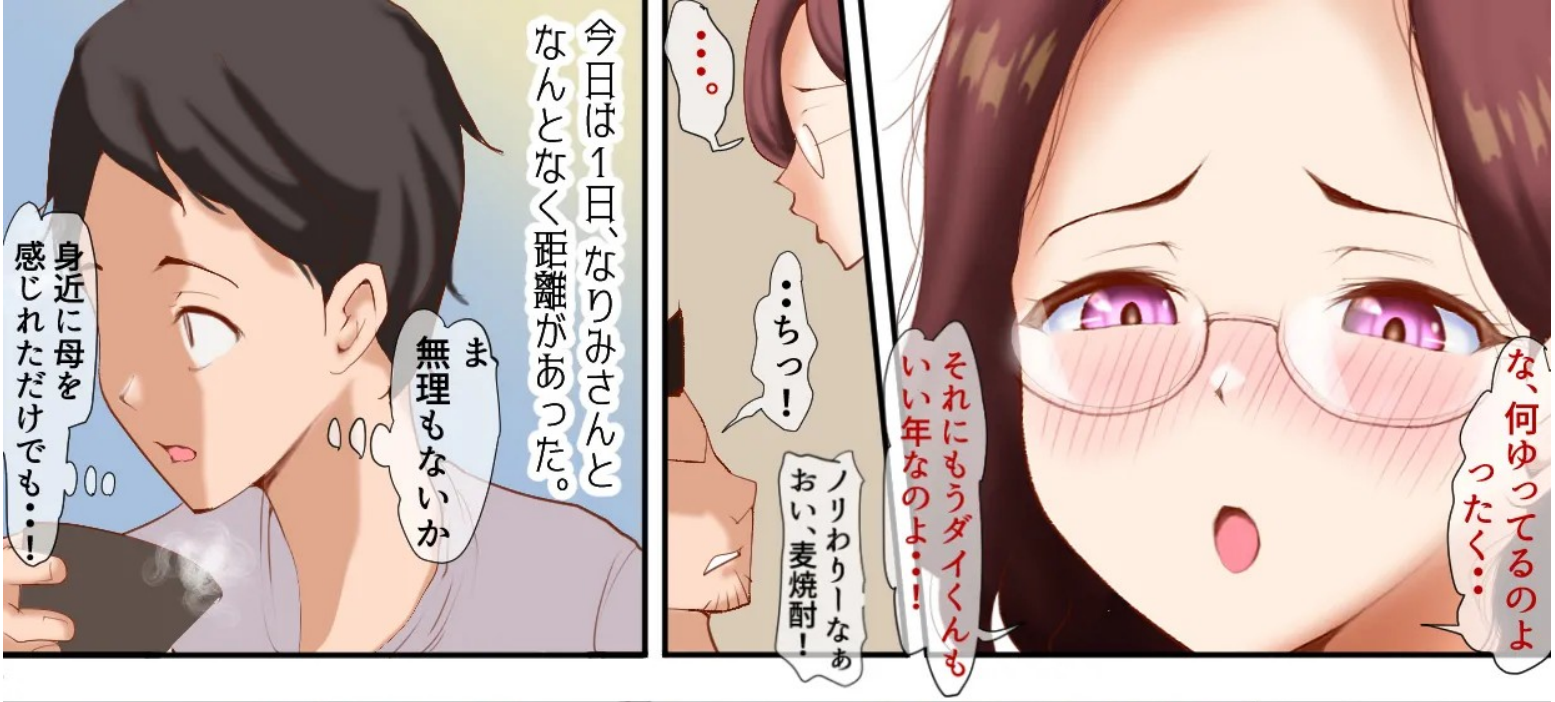
わかる、
わかるぞぉ～っ

甘えたりねーん
だよな？

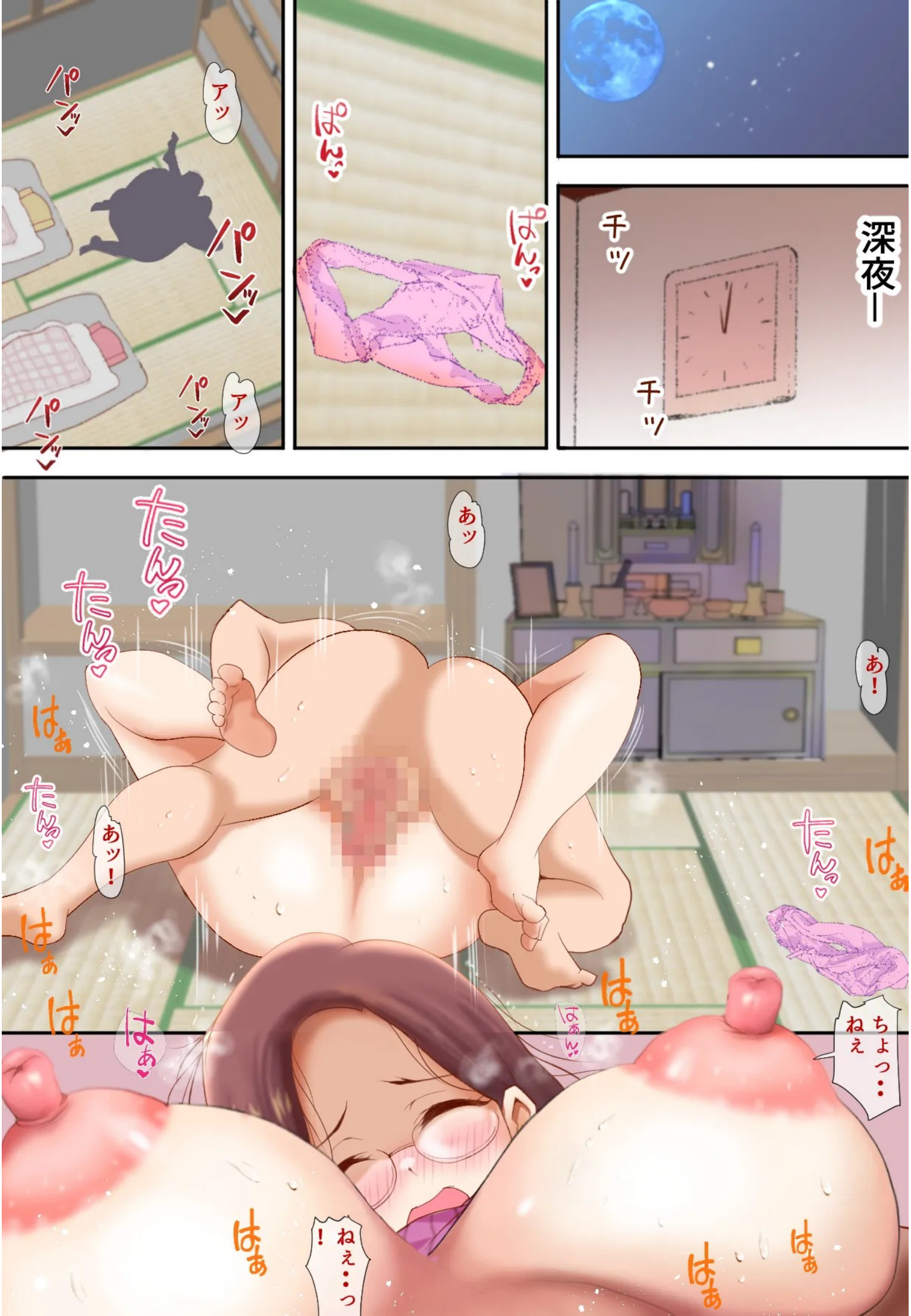
おいお前、
ちとおっぱいでも
吸わせてやれよ

へるもんじゃねーし

こいつはよ、
愛情がたりねぇンだよ


な、何ゆってるのよったく・・
それにもうダイくんもいい年なのよ・・!
・・ちっ!
ノリわりーなぁおい、麦焼酎!
・・・。
今日は1日、なりみさんとなんとなく距離があった。
ま無理もないか
身近に母を感じれただけでも・・!


しかも今月は母の命日でありなりみさんは
寝室の部屋にわざわざしまっていた写真立てをだしてくれたー
いつも通りの笑顔で歳を取らない母が、そこに居たー。


深夜ー
チッ
チッ
ぱんっ♡
ぱんっ♡
パンッ
パンッ
アッ
パンッ
アッ
パンッ
あッ
あ！
たんっ♡
たんっ♡
はぁ
たんっ♡
はぁ
あッ！
はぁ
はぁ
はぁ
はぁん♡
はぁ
たんっ♡
はぁ
ちょっ・・ねえ
ねぇ・・っ！
はぁ
はぁ
はぁ


新婚以来忘れたようになかった夫婦間のセックス
なぁに大丈夫だって・・!
か、彼・・隣室で寝てるのよ・・!?
ね、ねえっまずいわよ・・!
はー…
はー…
はー…
はー…
ヌプッ
ヌプッ
ヌプッ
ヌプッ
それが今夜突然・・!
プル
プル
プル
プル
プル
プル
何もこんな時にエッチなんて
ビク
ビク
ビク
ビク
ビク
なぜ・・
なぜ主人はこんな・・っ
はぁ
はぁ
はぁ
はッ
はッ
はッ
はッ
はッ
ふん
ふん
なぜか急にムラっちまって・・!
ヌチ
ヌチ
ヌチ

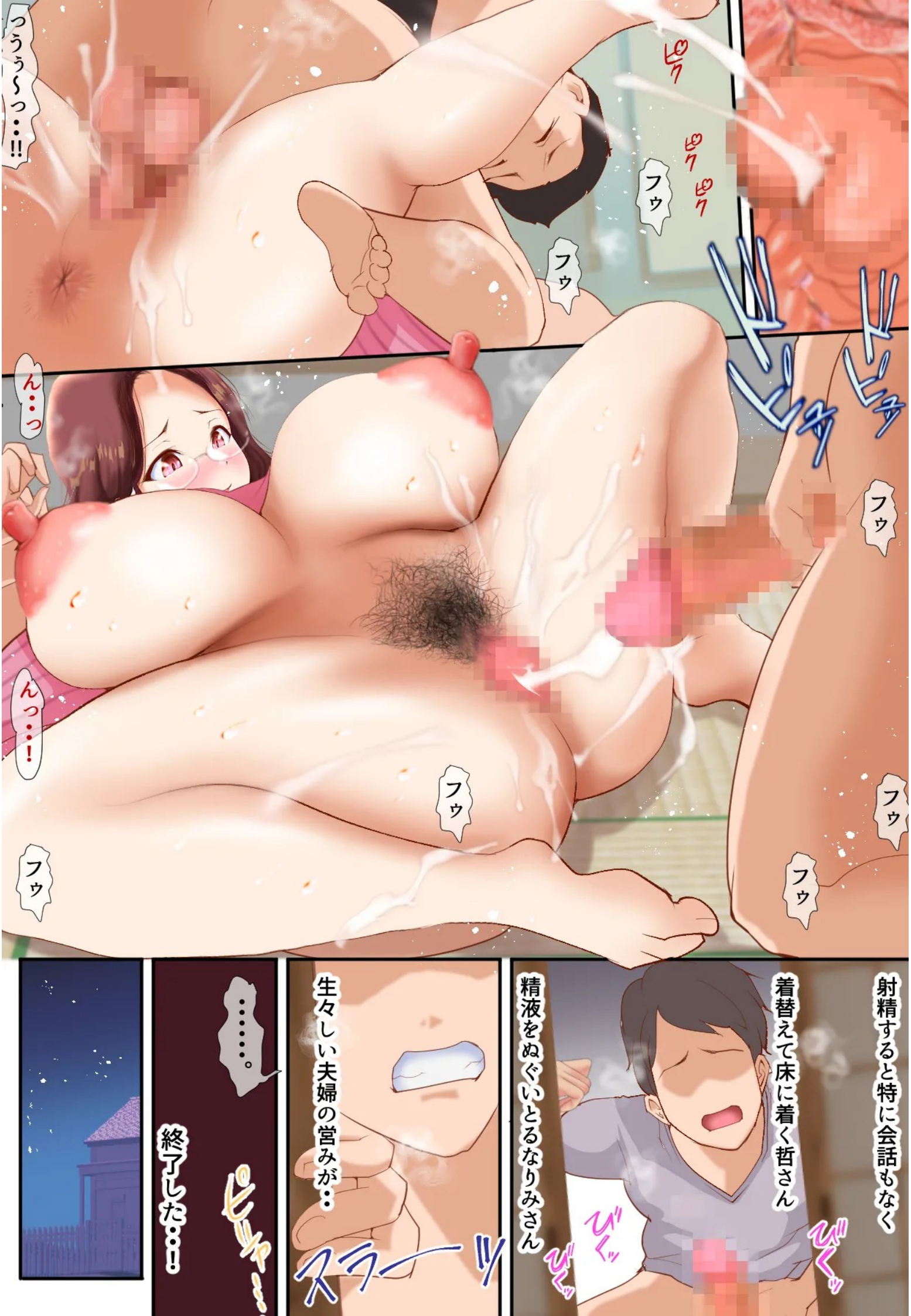

ちょっとねえ・・！
み、みられたらどうするのよやめ・てっ
ズンズンズン
き きいてるの・っ？
大丈夫だって・・！
ズブッズブッズブッ
フゥッ！
おねがいま・ずい・っ
んっんぅ・・！
ン！
ふぅう～ッ！
フゥッ！
・ンっ！
・・・
あわわ・・！
あ・・あぁ・・！
ガクッ


な！な！
うあぁ～っ
し、信じられない…!!
信じられない事があ～!
ひっ
んっ
目の前でずぷずぷ
まんこにくいこむ太チンポ
ひぃッ
んうッ
ただの夫婦の営み・・・
のはず、なのに
こんな気持ち、初めてで・・・
胸がはりさけそうで
でもギンギンに硬くなってて
わからないけど
ボクの大事な母が
やられてるようで
もう
もう
やめてくれ～っ!!

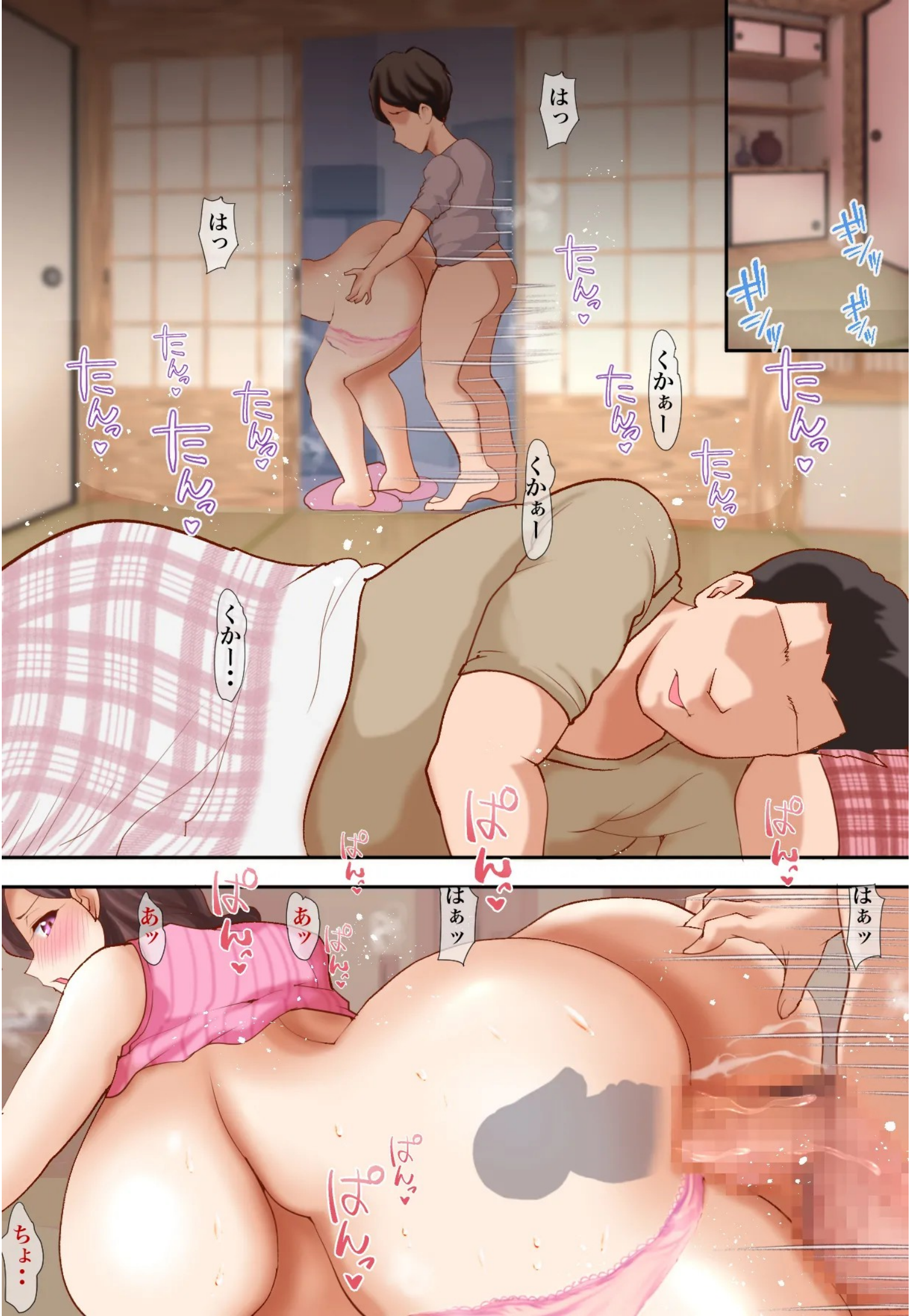

やめろ、やめてくれ!!
シコ
シコ
シコ
ママを乱暴に使用するな
汚ならしいペニスをねじこむな
くっそおおお〜!!
あ!
ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ
あっ!
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
あうっ!
ぱんっ
ハァ
ビクンッ
ハァ
ちょ・・おねがいッ
ハァ
ビクンッ
ビクンッ
声が、
き、きこえちゃう
から・・っ!
ふうっ!
ふうっ!
パンッ
パンッ
パンッ
ふうっ!
ふうっ!
ふうう〜〜っ!
悔しい!
もう悔しくて悔しくて!
シコ
シコ
シコ
パンッ
パンッ
パンッ
あ!あぁ!あ・・ッ!!


くっ！　よ、よりによって
かーちゃんの遺影の前で
ズッ
ズッ
ズッズッ
ズッズッ
あぁ
あぁ
んっ
やられまくるママに
嫉妬心がたぎる
はッ
はッ
はッ
ん
ふう
はッ
はッ
でも・・でも、
暗がりの中
うごめく裸体は
んうっ
んうっ！
はぁ
はぁ
んうっ
はぁ
どこかなまめかしく
艶っぽくて、
みとれてしまう怪しさで―。
ふう
ふうッ


記憶の中の
母が今よみがえり
目の前の女性と重なる
うぅ・・!!
母が好きなんだ・・
そう気づいた
改めて・・自分は
カタカタ
シコシコ
アッ
はぁ
はぁ!!
ぷるぷる
ぐちゅっ
アッ!
うぅ!
スパッ
あぁ・・!
っあぁ〜っ!!
うぅッ!!!!
てゅるるるっ


つうぅ〜っ・・!!
ピク
ピク
フゥ
フゥ
ん・・っ
フゥ
フゥ
フゥ
フゥ
フゥ
んっ・・!
射精すると特に会話もなく
着替えて床に着く哲さん
精液をぬぐいとるなりみさん
びくっ
びくっ
生々しい夫婦の営みが・・
スラーッ
ピッ
終了した・・!
……。


30分後―
のどが乾いて・・
ごそごそ・・
!?
おおきてたのね・
ドキドキ
・・・・・っ！
い――・・・
い――・・・
い――・・・
な・・っ
くぅ～～っ!!
ダイちゃんっ・・！
ダ
ドキッ
えっ
フーッ
フーッ
フーッ


はっ
はっ
たんっ
たんっ
たんっ
たんっ
たんっ
たんっ
くかぁー
くかぁー
くかー・・
ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ
はぁッ
はぁッ
あッ
あッ
ちょ・・


それじゃ一部始終・・・見て・・たの・・!?
狂ったように硬いモノをねじこまれるー
あ!
あ!
ちょ・・と
悔しいんだよ!もう悔しくて・・ボクのママなのに目の前であんなこと!
あ!
あ!
たんっ
たんっ
たんっ
ぐちゃっ
ぐちゃっ
ぐちゃっ
ぐちゃっ
お・願いっ
ぷるぷるぷるぷるぷるぷる
ね ねえ!?昨日だけって・・
ピクピクピク


ママがいけないんだよぅ!!
そ…んなっ
ママがこんなに
魅力的だから悪いんだ!
な…んでこんな事に…!
どうしたらいいのか
わからない状況で
ぶっといのが注射される
激しく求めてくる
彼のだしいれに
ひたすら耐える—
ひっ!
ひぃ!
ひぐぅ…っ
はぁ
はッ
ズブッ
ぶっ
あぇ
あぇ
あぇ


ちょ・・と、隣でこんな・・
はッ
ち 近くて・・
はッ
さすがにまずいわ、おね・がい
はッ
すごく損した気分だよ・・！
母を寝取られた感覚でムシャクシャして悔しくて・・ッ!!
夫が使用してた秘部に
!?
な・・何ゆってるの・・!?
ボクのちんぽで！
さっきのちんぽの感触、上書きしたくて・・!!
ガチガチのが乱暴にくいこんでくる


あ・あなた どうかしてるわ
主人との行為にそんな・・！
悔しいんだよ!!
こんなとこ夫に見られたらー！
はっぁぁ・・！
見・られたら私ー
悔しくて悔しくて！
はぁ！
わかるよね？ボクのこの気持ち
旦那より長く、ボクのチンポをねじこみたくて!!

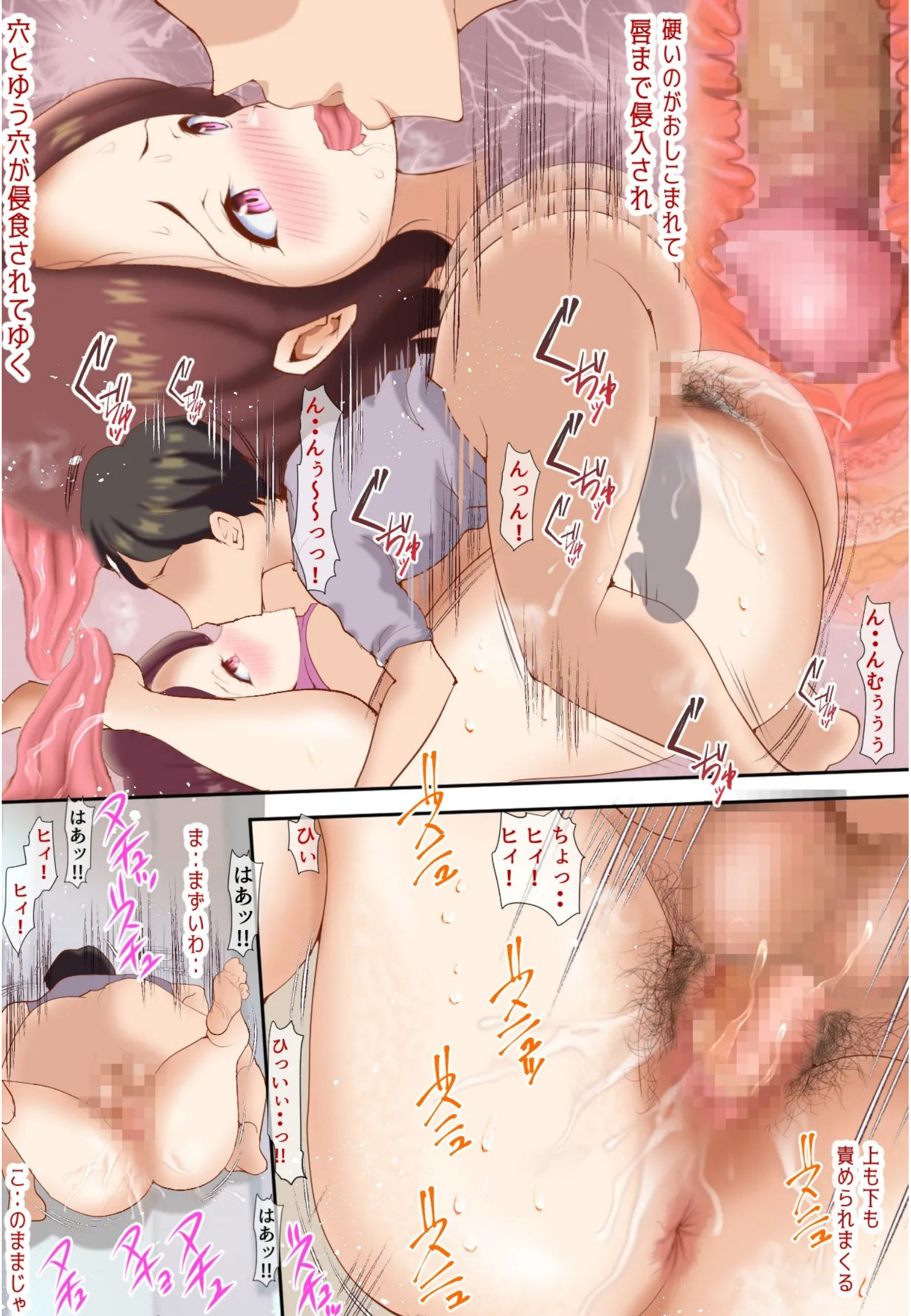

昨日入れてから情が移ってしまって
ふ―…
ふ―…
もう自分にとって特別な存在で！
ふ―…
そ、そうゆうのやめて、ほんとに…
ピク ピク ピク ピク
あ！
昨日だけの約束・だったのに
ぷる ぷる ぷる
あ！
ぷる
ぷる
あぁ・・!!
あ！
あ！
あ！
今夜は旦那の横でこんな…
パン パン パン パン パン パン パン パン パン パン
もうどうすればいいのかー
ぱん♡ ぱん♡ ぱん♡
アッ
アッ
アッアッ！
はぁ♡
はぁ♡
はぁ♡
ぱん♡ ぱん♡
アッ
はぁ♡
いつからこうなってしまったのか


こ、これ以上こんな事はやめましょ・・!?
ねえ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
き・・いてるの?
うっぐぅぅ吸い付いてくるぅぅ・・!!
ふー…
ふー…
くぅ〜っ
ワ、ワレメにはさまっちゃって・・
ぷるぷる
ぷるぷる
ぷるぷる


やっ！ちょ・・
でてる・ッ！
っあっあぁ～～っっ!!!!
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ピュッ
ピュッ
ひいっ！
中でドクドクだされ 子宮に直撃する
ひいっ
っはぁあ・!!
う・ぐうッ！
ドクンッ
ドクンッ
ドクンッ
ドクンッ
は・あぁあぁ
くっうぅ～～ッ!!


ふぅ〜っ…！
ふぅ〜っ…！
は！…
は！…
は！…
は！…
は！…
…っ！
気がすんだ…
…でしょ…？
フーッ
フーッ
フーッ
ぬ、ぬ…いて…っ！
ビクーン
ビクーン
ちょ…！
今だした
のに…っ
ちゃっ
ちゃっ
ちゃっ
ちゃっ
ちゃっ
ちゃっ
あ…あぁぁ…!!
ネチュッ
ネチュッ
ネチュッ
ネチュッ
ネチュッ
ネチュッ
あ、あと一回だけ！
一回だけやらせて!!
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
え!?
…ちょっ


はぁはぁ
はぁ
や・・め
やめ・・て・・!
も、もうっ
パンッパンッパンッパンッパンッパンッパンッパンッ
こんな近いのに・・!
こ、これ以上
甘やかせる訳には・・
や・・めさせなきゃ!
パンッパンッパンッパンッ
はッはッはッはッ
うっうう
なぜこうなったのか
誰が悪いのか
くうう〜っ
はッはッはッはッ
も、もう私
おかしくなりそう・・!!
ぷるんっ
ぷるんっ
ぷるんっ
ぷるんっ
うう・・っ!
びくっびくっ
びくっびくっ
あぁ〜っもう・・!!
っ!?
ちゅるるる
んっむうぅぅぅ〜〜っ!!
むちゅうぅぅーっ
んんっ!!
っんっんむむ・・!
ちゅ♡ちゅ♡ちゅ♡


穴とゆう穴が侵食されてゆく
硬いのがおしこまれて
唇まで侵入され
ん・んむうううう
ぐぢゅっ
ぐぢゅっ
ぐぢゅっ
ぐぢゅっ
ぐぢゅっ
んっん！
ん・んぅ～～っっ！
上も下も
責められまくる
ぢゅぢゅぢゅ
ぢゅぢゅぢゅ
ぢゅぢゅぢゅ
ちょっ・・
ヒイ！
ヒイ！
ひい
はあッ!!
ひっいい・っ!!
はあッ!!
ま・・まずいわ・・
はあッ!!
ヒイ！
ヒイ！
ぢゅぢゅぢゅ
ぢゅぢゅぢゅ
ぢゅぢゅぢゅ
こ・のままじゃ


気づいた時には
もう遅すぎてー!!
はぁ
んっ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
んッ
んッ
んッ
ビク
ビク
ビク


ふーッ
ああっ!?
や、やめてっ！
ま　丸見えじゃ・・・！
ふーッ
旦那の前なのに・・・
結合部分が晒されるー
ふーッ
ああ～っお・願いっ
こ・・こんな事・っ!!
ビクッ♡
ビクッ♡
ぬぷっ♡
ぬぷっ♡
ぬぷっ♡
じゅぷっ
じゅぷっ
ぷるっ
ぷるっ
うっ・・
うっうぅ・・!!
じゅぷっ
じゅぷっ
でも・・でも
ぷるっ
ぷるっ
ぷるっ
ぷるっ
そ・・れは・・！
ヌプッ
すっごい濡れてるよ、びちょびちょだよ・・!?
はぁ
はぁ
はぁ
ヌプッ
ヌプッ
ヌプッ
はぁ
はぁ
はぁ


主人の前で
若い肉棒に突きまくられ私は・
答えないって事は、
そうなんでしょ・・？
やっぱり、旦那のより
ううっ
うっうっ
ボクのが良かったんでしょ・・？
だからおまんこがこんなに
ねっ？
・・・・・っ。


やっぱりボクのママだ、ボクだけのー
も、もうやめて！ママって呼ぶのやめて・・!!
これ以上おかしくなりそう・・
夫と彼のはざまで
なぜこんなに・・苦しまないといけないの!?
た、耐えられないー！
なんかもう何が悪いのかわからなくなってー
わ、私っ・・
私もう・・!!
あ！あ！
あぁ～～っ・・・
・・・・っ!!


ポロポロ女っ
うっうっ・・
ゆさゆさ
わ、私・・は
はッ
はッ
はッ
たぷんっ
たぷんっ
わ 悪い妻です・・！
え・・？
はッ
はッ
ゆさゆさ
あなたごめんなさい
私・・断れなかった・・
他人棒が・・侵入しても
はー…
はー…
はー…
ぬぷ…
ビクンッ
ぬぷぷ…
・・断れない・・女なんです
ぬぷ…
きっと私はー
彼の母親のかわりに
欠けた愛情を
与える役なんだわ
ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ


だからこれは
悪い事ではないんだ・・
はぁ
あぁ
あぁ
そういいきかせた
はぁん!!
あぁ
あぁ
うぐっ
くっうぅ〜っ!!
131っ
131っ
131っ
131っ
131っ
うぐっ
夫もわかってくれるはず・・
そういいきかせた
あぁ
うぐっ
ハァ
ハァ
ハァ
ハァ
んうぅ・・!!
ん♡
んっ
と、とにかく
さっさと済ませて・・!
あくまで冷静をよそおう
ガクッ
ガクッ
ビクン
ガクッ
ガクッ
ビクン
感じてないフリをする
んっ♡
んっ


あぁあぁ・・っ
やっぱボクのママは
最高だ
さ、最高の
おまんこだっっ
ふ――…
ふ――…
でもすでにカラダも・・心も
ビクッ
ビクッ
ビクッ


ママのまんこに入れたら二度とぬきたくない!!
ひぃ!
ひぃ!
ひぃっ!
はッ
はッ
はッ
やめられないとまらない!
ぐちゃぐちゃ
ぐちゃ
さんざん突かれまくるともう何もかも麻痺してくる・・
あ!
あん!あん!
あ!
たんっ
たんっ
たんっ
たんっ
たんっ
旦那にはない熱量でここまで求められると女として・・
嬉しくないわけがない
でも感じてるなんて気付かれたくない
パン
パン
パン


夫の前で妻としての変なプライド
本当は激しいだしいれに気絶しそうで
ぐっと快感に耐え続ける
でも気を許したら全てのっとられそうで
ああ～っママ!!ボクのママッ!!
ふうっ!
ふうっ!!
ふうふうっ!!
ビクンッ
ビクンッ
ビクンッ
ビクンッ
ビクンッ
ぬぷぷ
ぬぷぷ
ぬぷぷ
ぢゅぶっ♡
ぢゅぶっ♡
ぢゅぶっ♡
ぢゅぶっ♡
ぢゅぶっ♡
ぢゅぶっ♡


再び唇を奪われると
もう、もう私は・・
ンッ♡
王手を詰まれて
拒めなくなるー
わかったわかった、もう
このまま二人
沼へ堕ちてゆこうー
とことん堕ちてまた
はいあがればいい・
私から彼の唇を
カタカタ
カタン
吸い返した・・!
んっ!
ふう
はあっ
んっ
ふう
ビク
ビク
ビク
ビク
ふうッ
ビクビク
ああ〜っママっ・・!
ガクッ
ガクッ
ガクッ
ガクッ
・・・っ!
ママの
唇がほしい・・!!
いいよね?
ビクン
ビクン
ビクン


はぁ…
はぁ
はぁ
はぁ
ぴゃ
ぴゃ
ぴゃ
ぴゃ
はぁ…
はぁ
はぁ…
もうこれでいいんだ
こうするしかないんだ
ハァ
ハァ
ハァ
ハァ
ハァ
ハァ
ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ
今宵の情事は長いようで短く
短いようで長くて
プル
プル
プル
プル
パンッ
パンッ
パンッ
そして、夫に見守られ(?)
背徳感の中での行為は
パンッ
パンッ
パンッ
パンッ
パンッ
パンッ
パンッ
パンッ
なぜこんなにゾクゾクするのか
ハァ
ハァ
ハァ
ハァ
ハァ
ハァ


んっ！
ぷるぷる
ぷるぷる
んっ！
ぷるぷる
ぷるぷる
ぷるぷる


あっぁぁっ
も、ももうダメだ
しまりすぎだッ・・
ズブッ
ズブッ
ズブッ
ズブッ
ズブッ
あ～っもう！
あ～っもう・・!!
んうっ♡
んっん♡
だ、だすよママ！
もうだすよママッ!!
んっ♡
ビクッ♡
ン！
ビクッ♡
ビクッ♡
ンッ！
ンンッ!!
ズッポ
ズッポ
ズッポ
ズッポ
ズッポ
ズッポ
ズッポ
ズッポ
ズッポ
ズッポ
ズッポ
まんこにだすよぉぉっ!!
あ！あ！あ！
んあぁあぁ～っ・・・


あっ！あっ！あっ
ビッ
ビッ
ビッ
ビッ
あっあぁあぁ～～っっ!!!!
ビッ
ビッ
ビッ
んっんん～～っっ…!!


あ・・
あ・・うぅ～っ！
ま・・
まだ・・！
はー…
・・・っ？
はー…
彼の棒は
萎える事なく
ま・・まだだしたりない！
だしたりないんだよぉッ！
はッ
ぐちゅッ
アッ!?
ひきぬかず
再び腰を振りはじめるー
あっあっ
ちょ・・ちょっと!?
ハァッ
ビクン
あ～っ
そんなッ・・
たんっ
っあぁ～っ・・！


再びカチコチので突かれると
ビクン
ビクン
ビクン
あぁ
き、気を失いそう
必死に耐えながら・・！
あぁ
あぁ
あぁ
あぁぁ！
ビクン
ビクン
ビクン
ビクン
ビクン
ぐちゅッ
ぐちゅッ
ぐちゅッ


ぱん ぱん
ぱん ぱん ぱんっ
出し入れがとまらない・・
あ♡
あ♡
はぁ はぁ はぁ
びくっ
行為は夜どおし続いた
ビク ビク ビク ビク
ちょっ・・と
いつまで、いつになったら・・・
ああ～っ
も・・もう・・！
びくっ びくっ
あ♡ あ♡ あ♡
はぁ はぁ
ズブッ
ズブッ
ズブッ
ズブッ
ズブッ
あ♡
あ♡
あ♡


あ！あ！あ！
たんっ♡たんっ♡たんっ♡
ハア♡
ひぃ!!
ひぃっ！
ハア♡
ぢゅぶっ♡
ぢゅぶっ♡
あ！
あっ！
ハア♡
ハア♡
はぁ♡
あああもう！
あああもう！
ぢゅぶっ♡
ぢゅぶっ♡
ぢゅぶっ♡
ぢゅぶっ♡
ぢゅぶっ♡
ぢゅぶっ♡
あ♡
だ、だめだ！
あがってきて
・・ッ
ハア♡
ぢゅぶっ♡
ぢゅぶっ♡
ぢゅぶっ♡
ぢゅぶっ♡
ぢゅぶっ♡
ぢゅぶっ♡
あ♡
もうダメ！
ハア♡
あ♡
もうダメぇ!!
あ♡
あ♡
ハア♡
ハア♡
ハア♡
ハア♡
はぁ♡
あ♡
ああ～っもう!!
もう・・っ!!
ビクビク
ビクビクビクビクッ
ハア♡
はぁ♡
あ♡
ハア♡


あっあぁあぁあぁ～～っ♡
どぴゅっ
どぴゅっ
あっあっ♡
どぴゅっ
あ♡
ハァ
ハァ
はぁ
とびゅっ
とびゅっ
とびゅっ
ガクッ
ガクッ
ガクッ
ハァ
ハァ
ハァ
ハァ
ハァ
ガクッ
フゥ!!
ビクンッ
ビクンッ
ビクンッ
フゥ!!
フゥ!!
フゥ!!
ビクンッ
ビクンッ
ビクンッ
ハァ


ンッ…！
はぁ
はー…
ンッ…！
はぁ
はー…
ふぅぅ〜っ…!!!!
んんぅぅ〜〜っ…!!
ぴゃ
はぁ
はぁはぁ
はぁ
はぁはぁ
はぁ
はぁはぁ
はぁ
他人妻を抱く行為の先の
征服した達成感、に酔いしれる


ボクのママなんだー。
ボクのが愛せてるんだ…!!
そういいきかせた
……
グゴゴ…
ボリボリ
旦那の前でする放精は…
罪悪感より
気持ちよさのが強くて
はー…
フゥフゥ

翌朝は3人で作業―
黙々と手を動かしながら横目で
彼女のまんこのあたりを
ジロジロ目で追ってしまう

ボクがだしたのが
膣に付着してるかと
思うと・・

ムクムク軽く
半立ちに

なりみさんだって
気付いてるはずだ！

僕のチンポであんなに
感じまくってたのは

ふう・・

そこに幸せをみいだせたから、だよね・・？

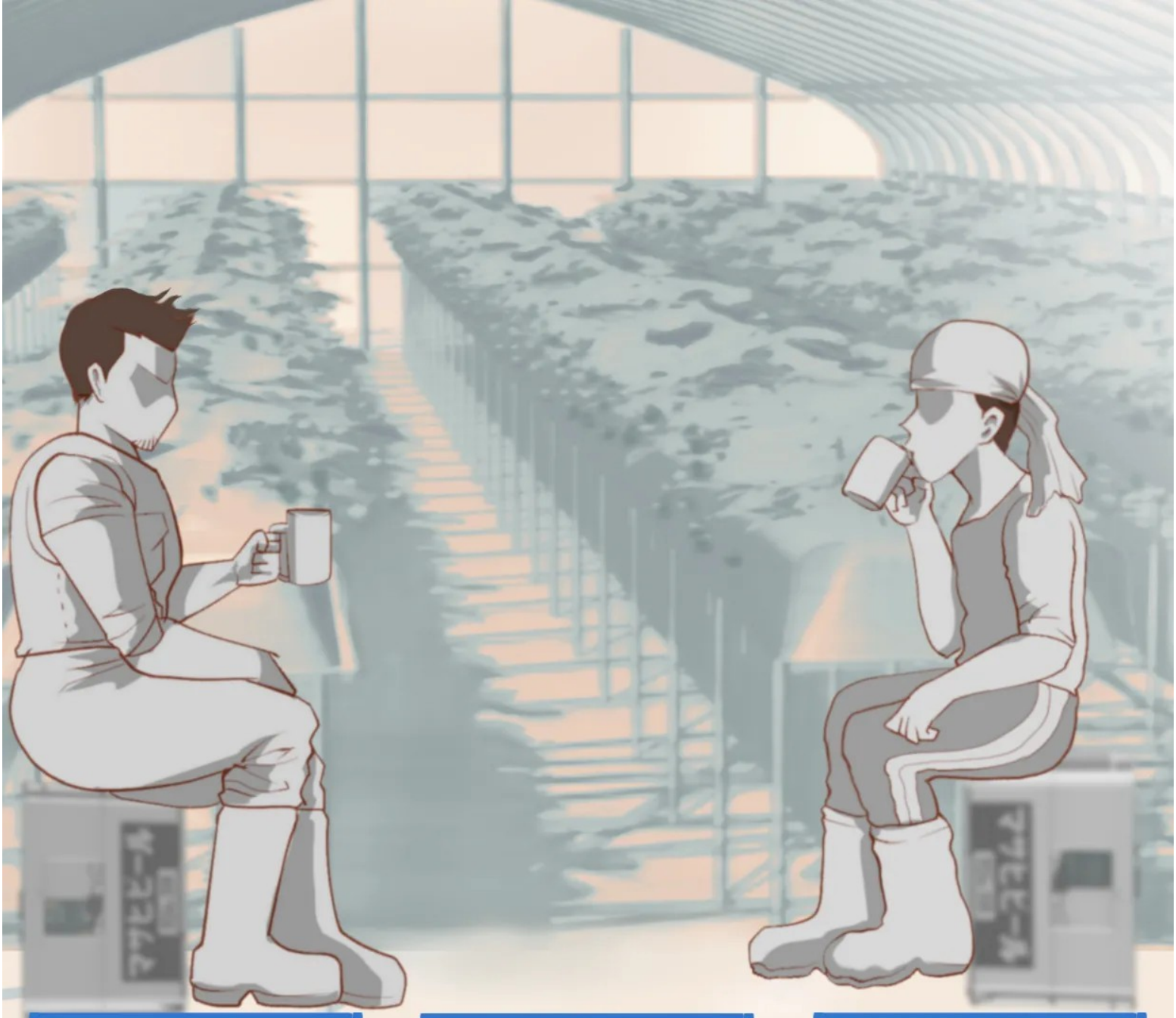
彼がここにいる間に
身も心も・・
全て奪われると
気付いた私

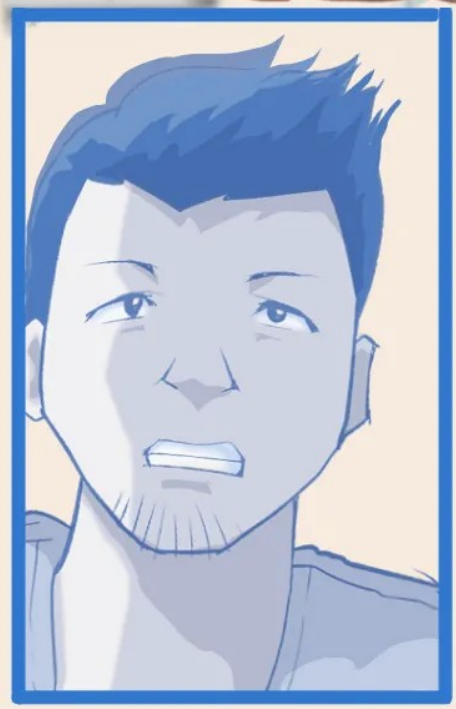
・・・・・。

母への執着を
スッキリさせるため
思いついたのは・・。

そうだわ・・！

to be continued

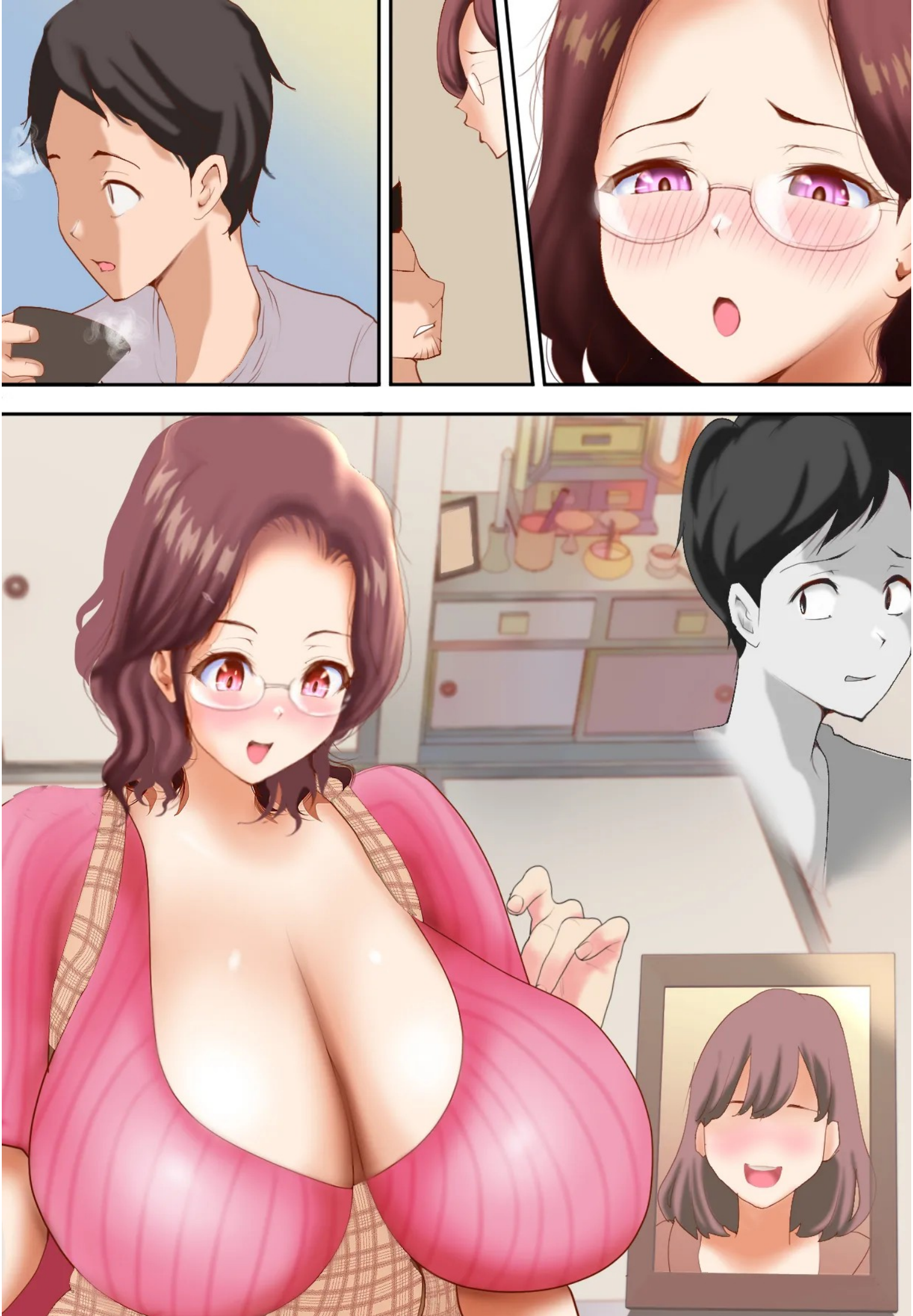












































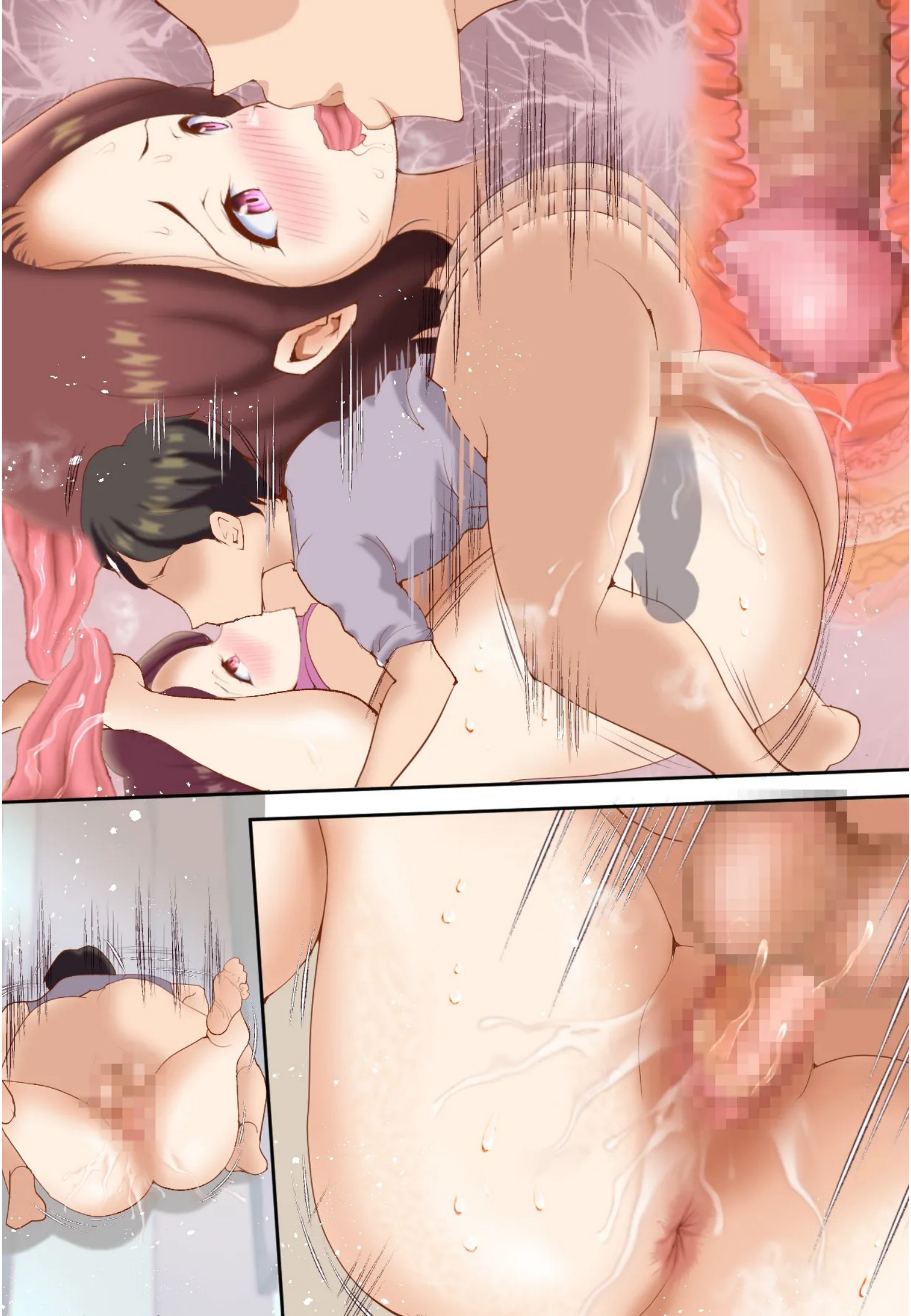










































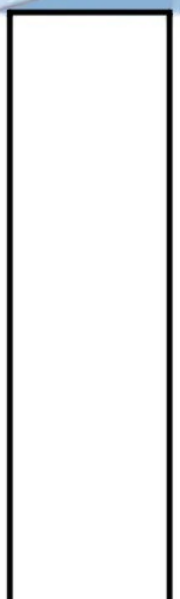


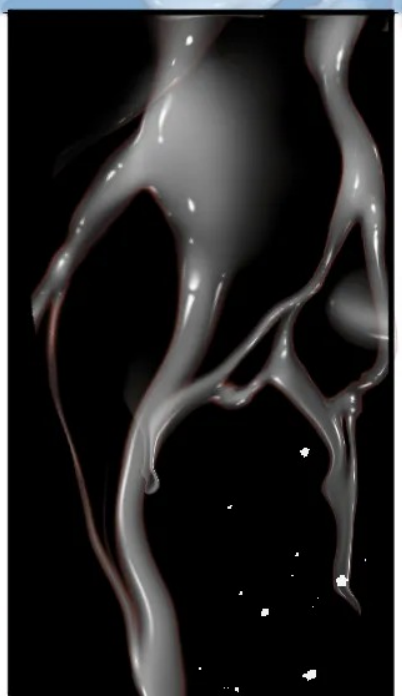


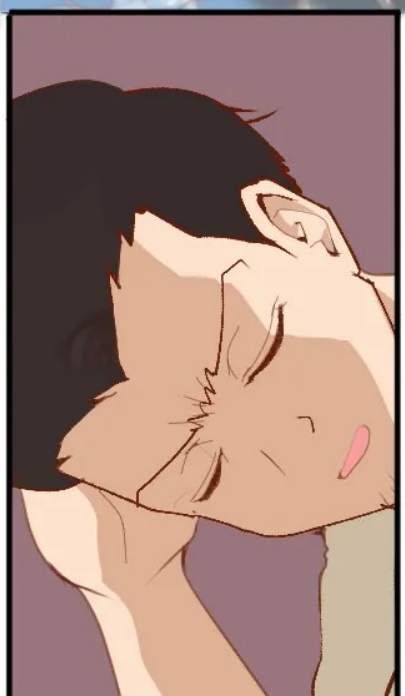















ぷるん